

令和4年度岩手県立病院等事業会計当初予算の概要

資料No. 3

1 予算の内訳

(単位:千円)

区 分		令和4年度 当初予算額	令和3年度 当初予算額	比 較
収益的 収支	収 益	114,072,618	112,833,114	1,239,504
	費 用	114,444,817	113,028,783	1,416,034
	差引損益	△ 372,199	△ 195,669	△ 176,530
	経常損益	70,492	37,305	33,187
資本的 収支	収 入	14,895,411	14,639,687	255,724
	支 出	21,018,612	21,831,956	△ 813,344
	建設改良費	8,212,985	7,880,305	332,680
	企業債償還金	12,340,027	12,511,251	△ 171,224
	他会計からの長期借入金償還金	0	1,000,000	△ 1,000,000
	投資	465,600	440,400	25,200
	差 引 (内部留保資金充当)	△ 6,123,201	△ 7,192,269	1,069,068

2 収益的収支予算の主なもの

(1) 医業収益

新型コロナウイルス感染症に感染した患者の受入れと併せて、通常診療を提供する体制を確保すること等により、入院・外来患者数の増加を見込んでいます。

ア 入院収益 60,850百万円(前年度比 2,905百万円) 入院患者数 1,145千人(前年度比 4千人)

イ 外来収益 28,806百万円(前年度比 677百万円) 外来患者数 1,697千人(前年度比 1千人)

(2) 医業費用

患者数の増加及び高額薬剤の適応拡大や使用量の増加等により、材料費の増加を見込んだほか、燃料価格の高騰等による経費の増加を見込んでいます。

ア 材料費 27,791百万円(前年度比 556百万円)

イ 経費 16,378百万円(前年度比 582百万円)

3 資本的収支予算の主なもの

(1) 建設改良費

冷房設備等の老朽化及び施設の狭あい化に対応するための工事費や、高度医療の充実を図るための医療器械の購入費等を計上しています。

ア 遠野病院冷房設備改修工事費 327百万円

イ 胆沢病院救急外来室等改修工事費 53百万円

ウ 線形加速器システム等医療器械購入費 4,554百万円

(2) 投資

計画的な医師養成を目的とする医療局医師奨学資金貸付金として、466百万円を計上しています。

令和4年度県立病院等事業会計当初予算及び令和3年度当初予算比較

(単位:千円)

	令和4年度当初予算			令和3年度当初予算			比較増減	
	金額	構成比	費用	金額	構成比	費用	4当対3当	増減率
	A	%	収益	B	%	収益	A=B=C	C/B %
1 医業収益	95,816,308	84.0	—	92,141,916	81.7	—	3,674,392	4.0
(1) 入院収益	60,849,878	53.3	—	57,944,813	51.4	—	2,905,065	5.0
(2) 外来収益	28,806,387	25.3	—	28,128,971	24.9	—	677,416	2.4
小計	89,656,265	78.6	—	86,073,784	76.3	—	3,582,481	4.2
(3) その他医業収益	6,160,043	5.4	—	6,068,132	5.4	—	91,911	1.5
2 医業外収益	18,256,310	16.0	—	20,691,198	18.3	—	△ 2,434,888	△ 11.8
3 特別利益	0	0.0	—	0	0.0	—	0	#DIV/0!
収益合計	114,072,618	100.0	—	112,833,114	100.0	—	1,239,504	1.1
(うち一般会計負担金)	14,537,578	12.7	(—)	15,932,067	14.1	(—)	△ 1,394,489	△ 8.8
1 医業費用	111,522,134	97.4	116.4	110,211,031	97.5	119.6	1,311,103	1.2
(1) 給与費	58,822,503	51.4	61.4	58,608,432	51.9	63.6	214,071	0.4
(2) 材料費	27,790,523	24.3	29.0	27,234,463	24.1	29.6	556,060	2.0
(3) 経費	16,377,673	14.3	17.1	15,795,801	14.0	17.1	581,872	3.7
(4) 交際費	1,000	0.0	0.0	1,000	0.0	0.0	0	0.0
(5) 減価償却費	7,738,591	6.8	8.1	7,731,225	6.8	8.4	7,366	0.1
(6) 資産減耗費	169,732	0.1	0.2	213,033	0.2	0.2	△ 43,301	△ 20.3
(7) 研究研修費	622,112	0.5	0.6	627,077	0.6	0.7	△ 4,965	△ 0.8
2 医業外費用	2,379,992	2.1	2.5	2,484,778	2.2	2.7	△ 104,786	△ 4.2
(うち支払利息)	1,136,341	1.0	1.2	1,288,678	1.1	1.4	△ 152,337	△ 11.8
3 特別損失	442,691	0.4	—	232,974	0.2	—	209,717	90.0
4 予備費	100,000	0.1	—	100,000	0.1	—	0	0.0
費用合計	114,444,817	100.0	100.3	113,028,783	100.0	100.2	1,416,034	1.3
差引損益	△ 372,199	—	—	△ 195,669	—	—	△ 176,530	△ 90.2
前年度末繰越欠損金	46,133,399	—	—	45,937,730	—	—	195,669	0.4
当年度末累積欠損金	46,505,598	—	—	46,133,399	—	—	372,199	0.8

【経常損益】

(70,492)

(37,305)

(33,187)

(注)診療実日数 (単位:日)

区分	入院	外来
4年度	365	243
3年度	365	242

1. 患者数

(単位:人)

区分	入院	外来	計
4年度当初予算a	1,144,602	1,697,213	2,841,815
3年度当初予算b	1,141,163	1,696,560	2,837,723
増減	a-b	3,439	653
	(a-b)/b	0.3	0.0

2. 一日平均患者数

(単位:人)

区分	入院	外来
4年度当初予算a	3,136	6,984
3年度当初予算b	3,126	7,011
増減	a-b	10
	(a-b)/b	0.3

3. 患者一人一日当平均収益 (単位:円)

区分	入院	外来
4年度当初予算a	53,162	16,973
3年度当初予算b	50,777	16,580
増減	a-b	2,385
	(a-b)/b	4.7

4. 病床利用率(許可病床数)

(単位:床、%)

区分	4病床数	4当初予算	3当初予算	差
一般	3,993	70.5	65.9	4.6
療養	88	32.1	32.5	△ 0.4
結核	79	2.8	9.9	△ 7.1
小計	4,160	68.4	64.2	4.2
精神	611	54.8	54.0	0.8
感染	22	0.0	32.8	△ 32.8
合計	4,793	66.6	62.7	3.9

5. 病床利用率(稼働病床数)

(単位:床、%)

区分	4病床数	4当初予算	3当初予算	差
一般	3,762	75.3	70.0	5.3
療養	45	62.8	63.6	△ 0.8
結核	74	3.0	10.6	△ 7.6
小計	3,881	73.7	68.8	4.9
精神	557	60.1	59.2	0.9
感染	22	0.0	32.8	△ 32.8
合計	4,460	72.0	67.4	4.6

当初予算(コロナ分)について

コロナに係る予算積算の考え方

【R4当初】

第1四半期はコロナの影響が継続し、第2四半期以降は通常診療へ移行すると仮定。

【R3当初】

上半期はコロナの影響が継続し、下半期以降は通常診療に移行すると仮定。

1 入院・外来収益

【R4当初】

(コロナ前のR元年度同期比)

第1四半期+1.7%、第2四半期以降+4.2%、通年+3.6%
※第1四半期コロナ影響による減収見込▲860百万円。

【R3当初】

(コロナ前のR元年度同期比)

上半期▲4.8%、下半期+2.9%、通年▲0.6%

2 その他の主な収益

(千円)

	R4当初	R3当初
収益計(①+②)	1,401,430	2,415,771
ワクチン接種収入①	177,892	0
補助金②	1,223,538	2,415,771
(再掲)空床確保料	1,160,640	2,353,563
R4:第1四半期分・フェーズ1		
R3:上半期分・フェーズ1		

3 費用

(千円)

	R4当初	R3当初
費用計	447,088	353,911
給料(コロナ増員体制36名の継続)	269,712	273,168
超過勤務手当	41,659	33,823
防疫等作業手当	63,375	46,920
診療応援手当(ワクチン接種)	72,342	0

資本収支

(単位:百万円、%)

内 容	4 年 度 当初予算 (A)	3 年 度 当初予算 (B)	比較増減		4 年度の主な事業内容
			4 当対 3 当 (C=A-B)	増減率 (B/C)	
1 資本的支出					
(1) 土地費	50	50	0	0.0	
(2) 建物費	1,580	1,859	△279	△15.0	冷房設備改修工事(遠野、東和、軽米) 418 胆沢病院救急外来室等改修工事 53 附帯設備改修工事及び建物一般整備 他 618
(3) 医療器械費	4,554	4,151	403	9.7	胆沢リニアック更新 他 2,178
(4) 備品費	1,042	1,151	△109	△9.5	電子カルテ、医事会計システム 他 919
(5) ソフトウェア費	987	669	318	47.5	電子カルテシステム 844 勤務管理システム、医事会計システム 他 143
建設改良費 計	8,213	7,880	333	4.2	
(6) 企業債償還金	12,340	12,511	△171	△1.4	
(7) 他会計借入金償還金	0	1,000	△1,000	△100.0	
(8) 投資	466	440	26	5.9	新規貸付25名、継続貸付116名
支 出 合 計 (a)	21,019	21,831	△812	△3.7	
2 資本的収入					
(1) 企業債	7,464	7,226	238	3.3	建物分:1,440、医療器械分:4,138、システム整備分:1,886
(2) 一般会計繰入金	6,818	7,116	△298	△4.2	コロナ地方創生臨時交付金(システム): 19
(3) 補助金	614	297	317	106.7	新型インフルエンザ等患者入院医療機関等設備整備事業補助金: 304 医療局医師奨学資金貸付事業費補助金: 268
(4) その他	0	0	0	0.0	
収 入 合 計 (b)	14,896	14,639	257	1.8	
差 引 (a-b)	6,123	7,193	△1,070	△14.9	内部留保資金を充当

令和4年度 当初予算案について

1 予算案の考え方

新型コロナウイルス感染症に感染した患者の受入れと併せて、通常診療を提供する体制を確保し、令和4年度当初予算における経常損益では、70百万円余の黒字を計上するもの。

引き続き、収入確保及び費用縮減等の改善に取り組むとともに、良質な医療を提供し続けるため、職員の負担軽減や働きやすい職場環境の取り組みなどを推進していく。

また、設備投資については、費用対効果や勤務環境の改善、キャッシュフローの見通し等を踏まえた投資規模とする。

2 各課トピック

【経営管理課】

- ・ 劣化調査の結果を踏まえた長寿命化改修工事（宮古病院）
- ・ 胆沢病院救急外来室等改修工事
- ・ 中部病院女性医師専用仮眠室等工事
- ・ ペーパーレス会議システムの整備

【職員課】

- ・ 新型コロナウイルス感染症へ対応するための体制強化の継続（看護師36人）
- ・ 職員配置計画を踏まえた医療技術部門等の体制強化（8名の増）
- ・ ハラスメント防止対策の推進（専門家による研修の実施、相談窓口等）
- ・ 働き方改革の推進や超過勤務縮減推進月間の実施により、超過勤務の10%縮減

【医事企画課】

- ・ 診療報酬改定への対応、新規項目等の算定開始のための人員配置等の把握・分析
- ・ 患者のQOLに配慮した各種指導と在院日数の適正化
- ・ 医療現場のデジタル化の推進に向けた整備（AI問診、リモートワーク端末整備）
- ・ 勤務管理システムの機能追加等の対応
- ・ 電子処方箋の運用開始に向けて国の動向を踏まえた対応

【業務支援課】

- ・ クリニカルパスの推進（リハビリ早期処方、薬剤・栄養指導の組込、広報によるパス推進）

- ・ リハビリ部門の増員によるリハビリ提供体制の強化（5名の増員）
- ・ MR I等の高度医療機器等の計画的な整備
- ・ 医師との協働による診療材料の廉価購入の取組

【医師支援推進室】

- ・ 令和6年度から開始される医師労働時間上限規制に向けた外部専門家の活用
- ・ 医師の業務負担軽減に資する医療クラークの増員（定数9名の増）
- ・ 県立病院間の連携の強化による専門研修プログラムの充実
- ・ 研修医確保のためのレジナビフェア参加機会の拡大